

2022年12月23日  
 一般社団法人 GOLD 日本委員会  
 事務局（株式会社アース・ワン・オフィス内）  
 （担当）大塚  
 （電話）03-5360-4334 （FAX）03-5360-4336  
 （E-Mail）[info@gold-jac.jp](mailto:info@gold-jac.jp)

## COPD 認知度把握調査 結果報告書

- GOLD 日本委員会事務局による COPD 認知度把握調査の実施

GOLD 日本委員会では、現在までに 15 回にわたって、インターネットによる COPD 認知度把握調査を実施してきました。以下のとおり、その概要と結果をご紹介します。

- 調査の概要

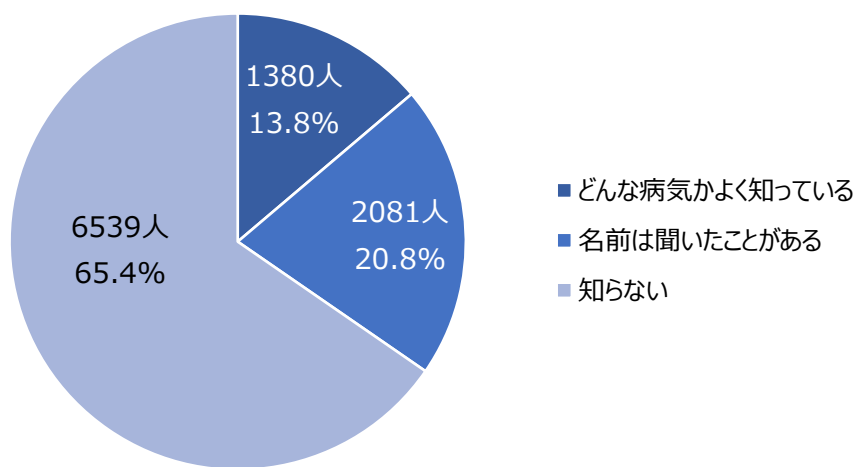
	1 次調査		2 次調査	
方 法	インターネット調査			
調査期間	【第 1 回】2009.7.23	【第 9 回】2016.12.1-5	【第 1 回】2009.7.27	【第 9 回】2016.12.2-5
	【第 2 回】2009.12.14	【第 10 回】2017.12.10-12	【第 2 回】2009.12.15-16	【第 10 回】2017.12.12-13
	【第 3 回】2010.12.6	【第 11 回】2018.12.3	【第 3 回】2010.12.7	【第 11 回】2018.12.4-5
	【第 4 回】2011.12.8	【第 12 回】2019.12.2	【第 4 回】2011.12.9	【第 12 回】2019.12.3-4
	【第 5 回】2012.12.14	【第 13 回】2020.12.10-11	【第 5 回】2012.12.15	【第 13 回】2020.12.11-13
	【第 6 回】2013.12.16	【第 14 回】2021.12.3-7	【第 6 回】2013.12.17-18	【第 14 回】2021.12.6-7
	【第 7 回】2014.12.8-10	【第 15 回】2022.12.13-14	【第 7 回】2014.12.9-11	【第 15 回】2022.12.13-14
	【第 8 回】2015.12.1-2		【第 8 回】2015.12.2-3	
調査対象	性(男・女)、年代(20 代・30 代・40 代・50 代・60 歳以上)別に 1,000 人ずつを均等ランダム抽出した 10,000 人		1 次調査で COPD が「どんな病気かよく知っている」と回答した人の中から性(男・女)、年代(20 代・30 代・40 代・50 代・60 歳以上)別に 11 回人ずつを均等ランダム抽出した 110 人	
調査内容	Q1. あなたは COPD(シー・オー・ピー・ディー)という病気を知っていますか？		Q1. あなたは喫煙したことがありますか？	
	Q2. 以下の中で、聞いたことがある病気をお選びください。 (慢性閉塞性肺疾患、肺気腫、慢性気管支炎)		Q2. COPD(シー・オー・ピー・ディー)という病気について知ったのはいつですか？	
	Q3. あなたは「肺年齢」の検査について知っていますか？		Q3. どのような経路で COPD について知りましたか？	
			Q4. COPD の原因の 90%以上は喫煙であることを知っていますか？	
			Q5. 喫煙経験のある 40 歳以上の 8 人に 1 人は、COPD の可能性があることを知っていますか？	
			Q6. COPD の主な症状は慢性的な咳と痰(たん)、息切れであることを知っていますか？	

**資料**

● COPD 認知度とその推移 (1次調査 Q1) 【2022年12月調査】

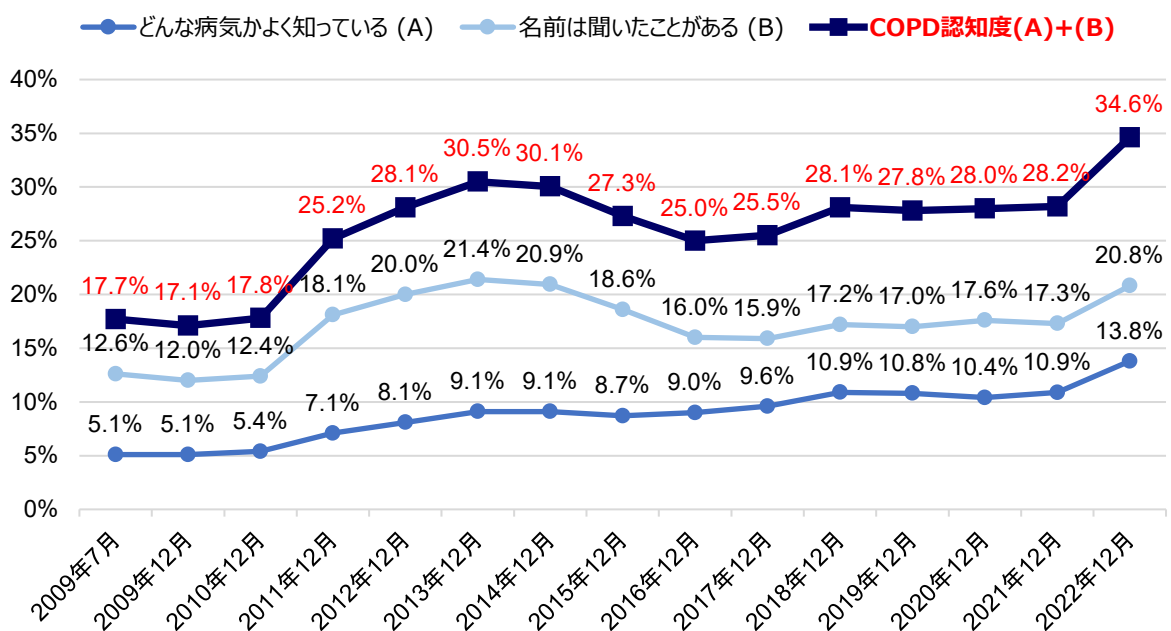
「あなたは COPD (シー・オー・ピー・ディー) という病気を知っていますか?」という質問に対して、「どんな病気かよく知っている」「名前は聞いたことがある」と答えた人は、合わせて 3,461 人 (34.6%) となった。COPD の認知度は調査を開始した 2009 年から 17% 台で推移していたが、その後は 2013 年の 30.5% をピークに 25% から 30% 台の間で推移していた。2022 年の結果は 2021 年の 28.2% から 6.4 ポイントの上昇となった。年代別では 20 歳代が 41.9% で一番高く、続いて 30 歳代が 38.3% で、全体の認知度を上回った。

COPD 認知度 (2022年12月調査)



(単一回答 n=10,000)

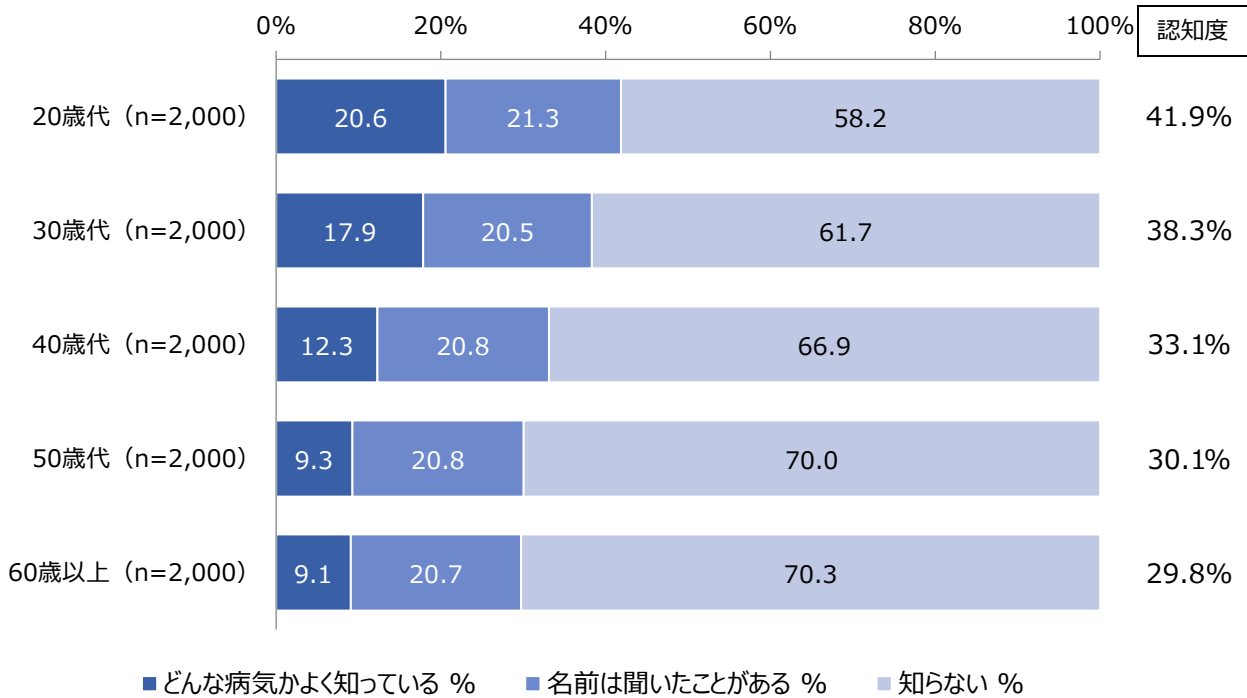
COPD 認知度の推移



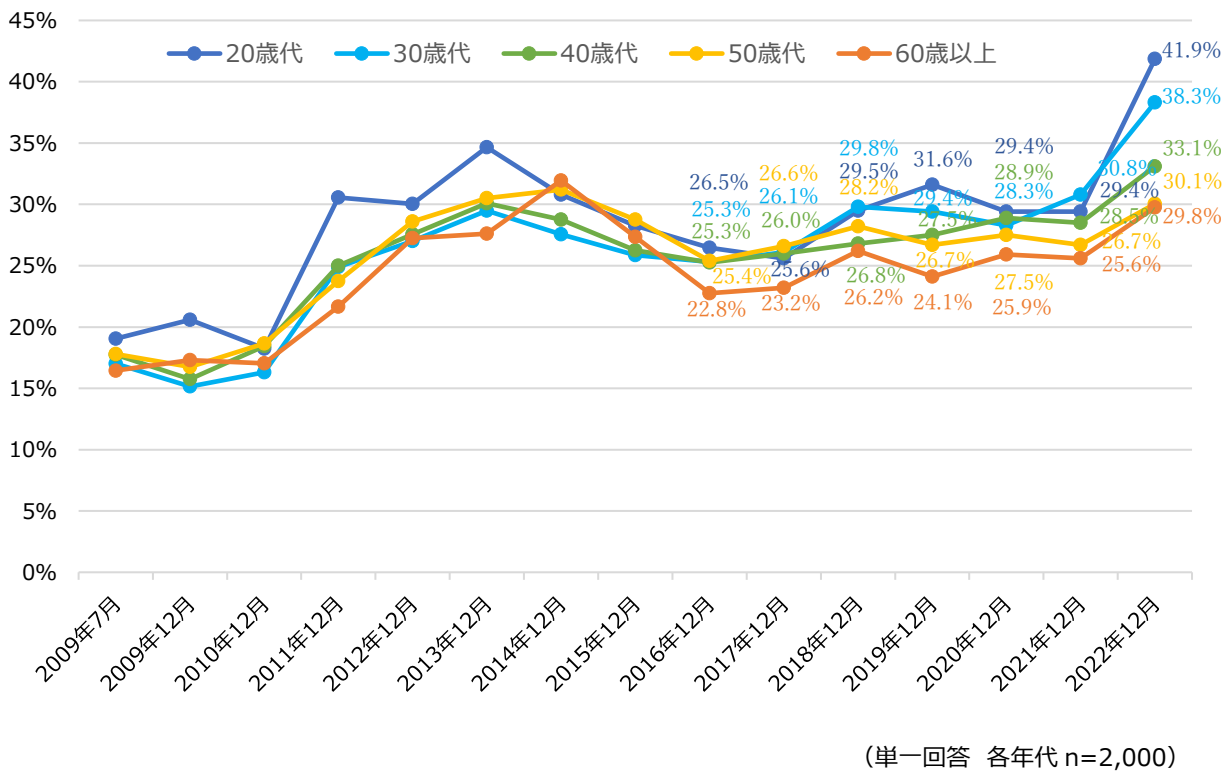
(単一回答 各 n=10,000)

資料

年代別 COPD 認知度



年代別 COPD 認知度の推移

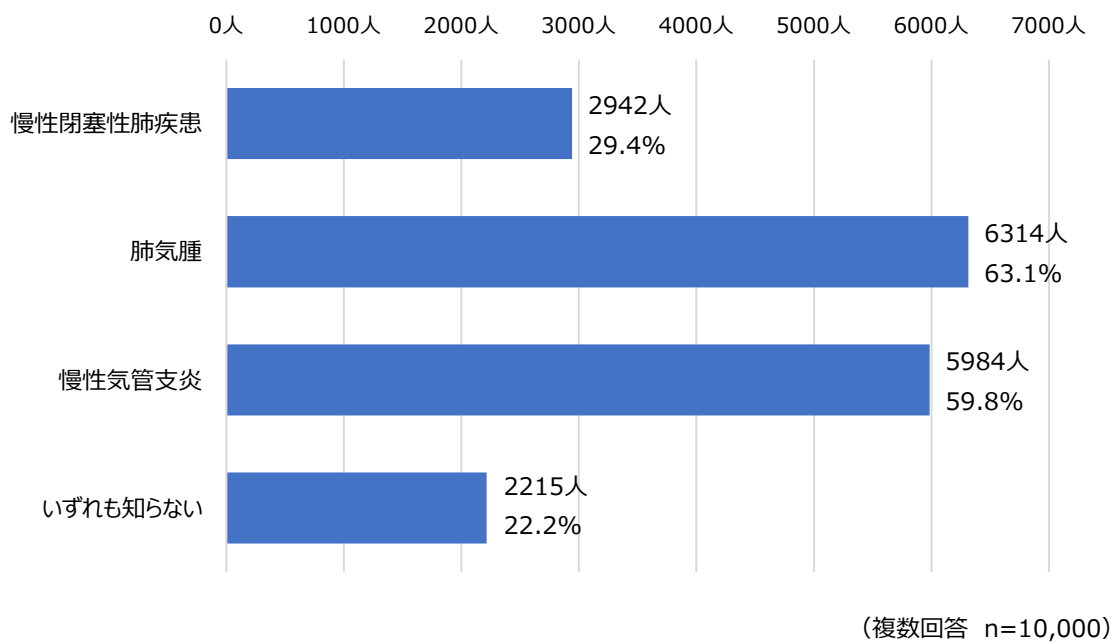


**資料**

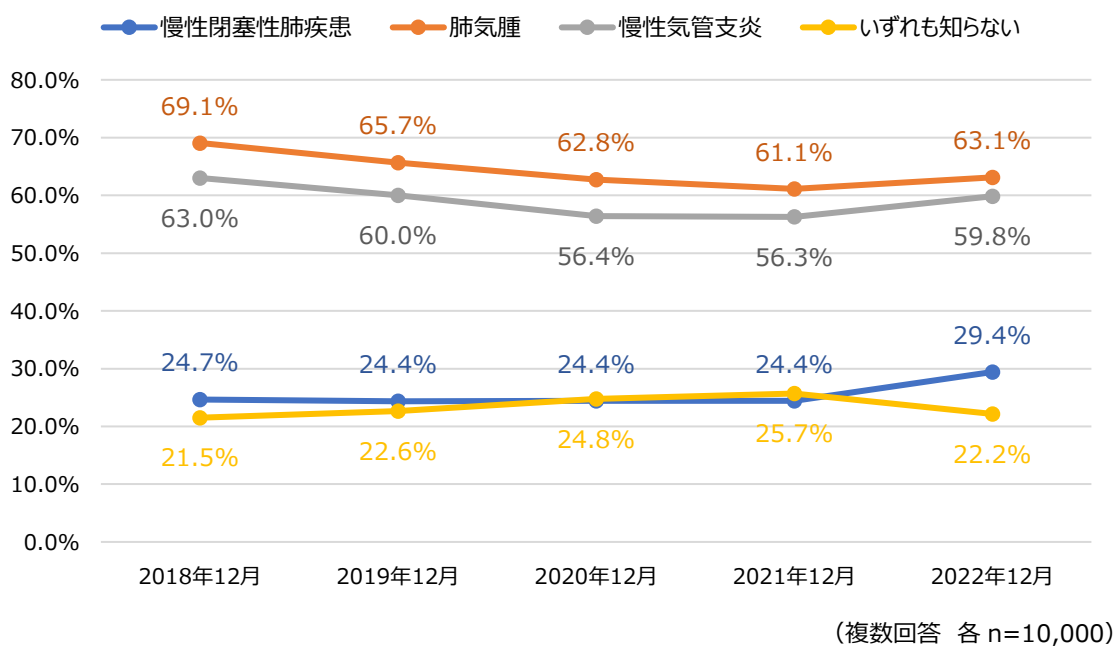
● 「慢性閉塞性肺疾患」「肺気腫」「慢性気管支炎」の認知の度合い（1次調査 Q2）【2022年12月調査】

「慢性閉塞性肺疾患」「肺気腫」「慢性気管支炎」の中で聞いたことがある病気を質問したところ、「肺気腫」が6,314人（63.1%）、「慢性気管支炎」が5,984人（59.8%）と2021年の調査同様、高い結果となった。「慢性閉塞性肺疾患」は2,942人（29.4%）で、「肺気腫」に比べて聞いたことがある人は半数程度となった。しかし、「慢性閉塞性肺疾患」の認知度は上昇傾向にあり、「いずれも知らない」がやや低下している。

「慢性閉塞性肺疾患」「肺気腫」「慢性気管支炎」の認知度合い（2022年12月調査）



「慢性閉塞性肺疾患」「肺気腫」「慢性気管支炎」の認知度合い推移

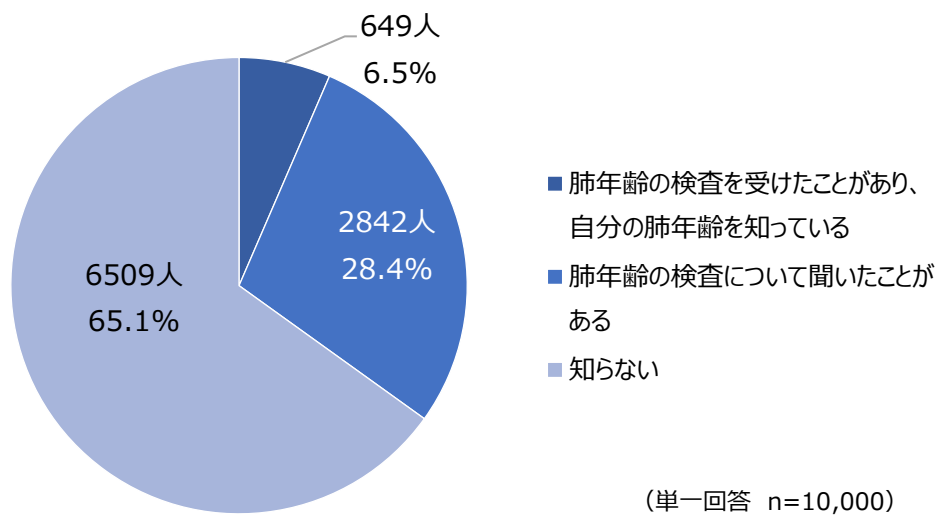


**資料**

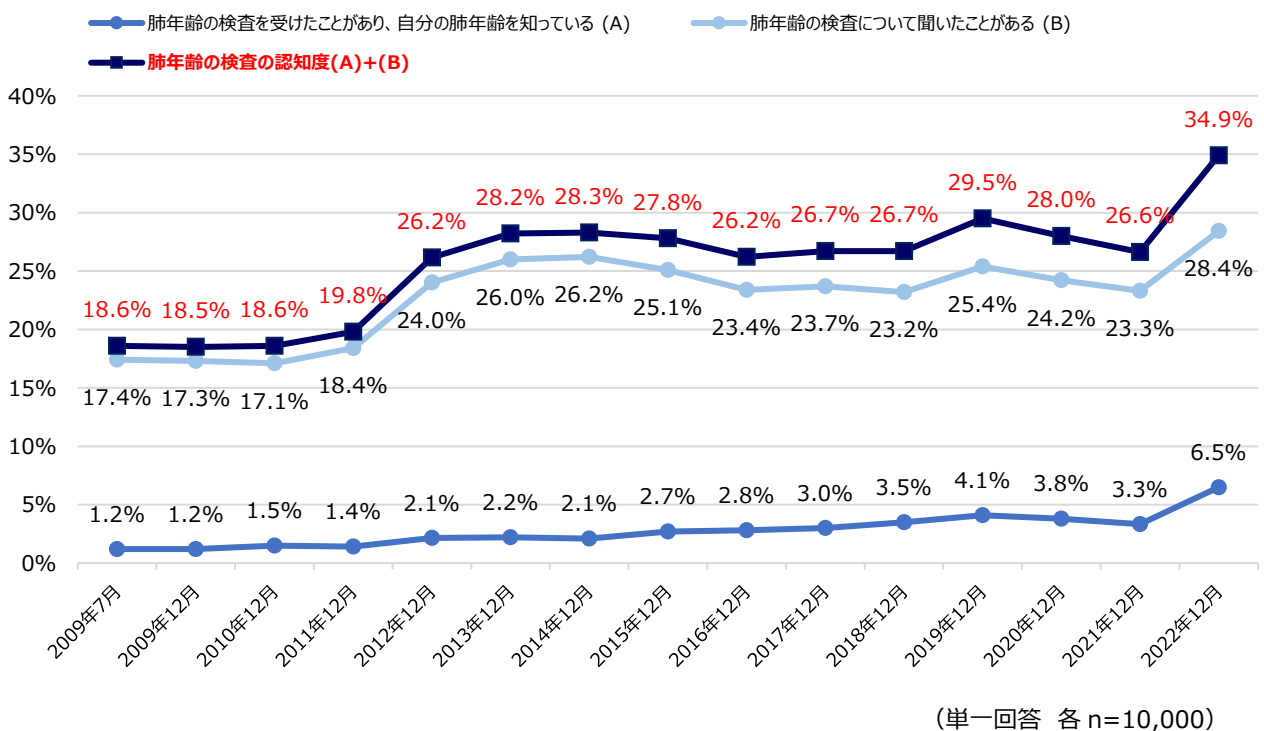
● 肺年齢の検査の認知度とその推移（1次調査 Q3） 【2022年12月調査】

「あなたは『肺年齢』の検査について知っていますか？」という質問に対して、「肺年齢の検査を受けたことがあり、自分の肺年齢を知っている」「肺年齢の検査について聞いたことがある」と答えた人は合わせて3,491人（34.9%）で、2021年（26.6%）と比べ8.3ポイント上昇した。2009年から2011年にかけての4回の調査では肺年齢の認知度は19%前後でほとんど変化がみられなかったが、2012年には26.2%に上昇し、以後26~28%台で推移していた。

肺年齢の検査の認知度（2022年12月調査）

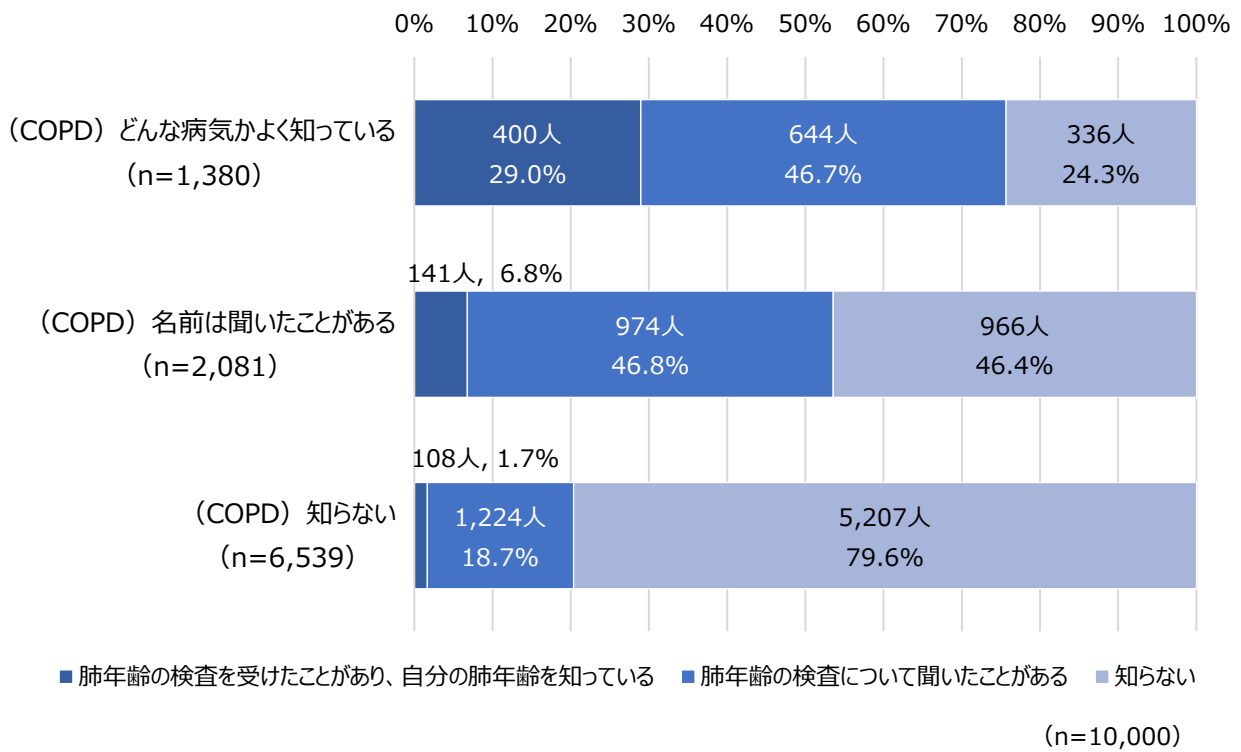


肺年齢の検査の認知度の推移

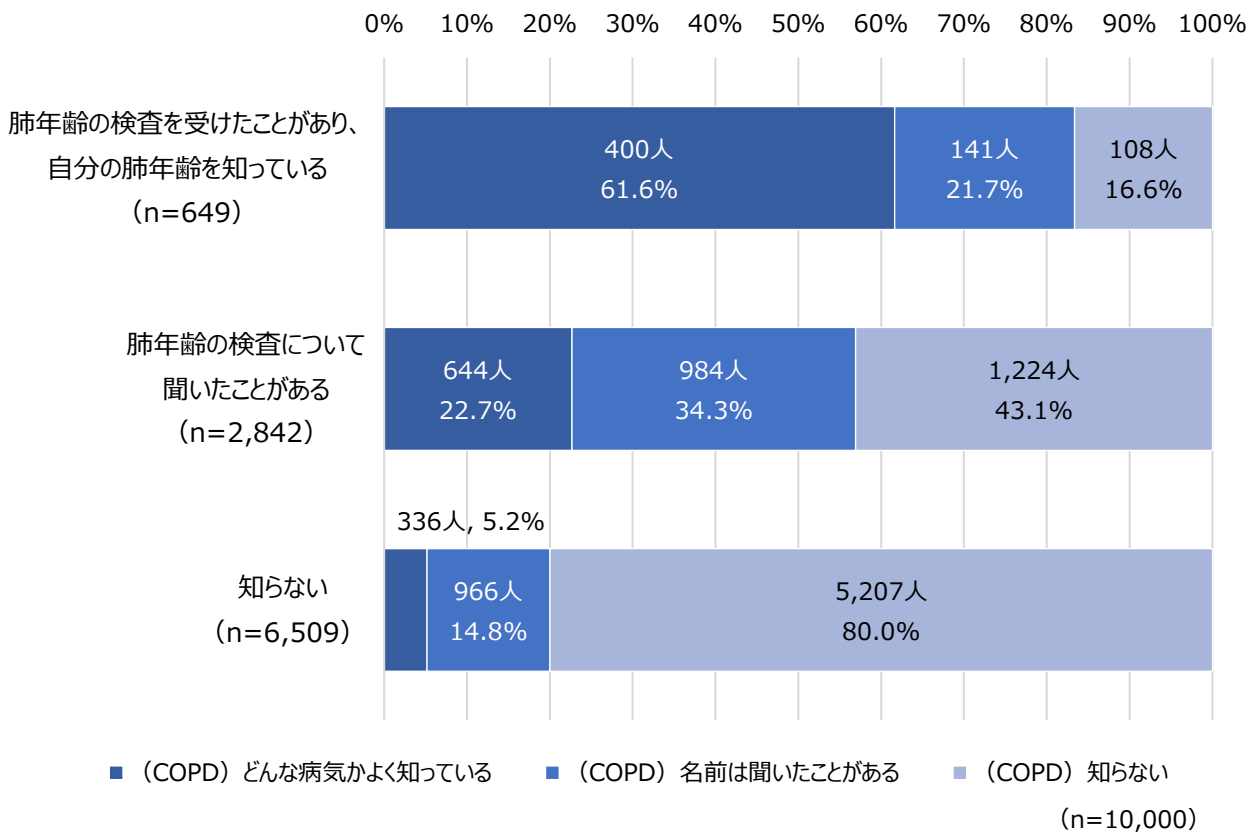


**資料**

● COPD と肺年齢の認知度の関係 (1次調査 Q1×Q3) 【2022年12月調査】



● COPD と肺年齢の認知度の関係 (1次調査 Q3×Q1) 【2022年12月調査】

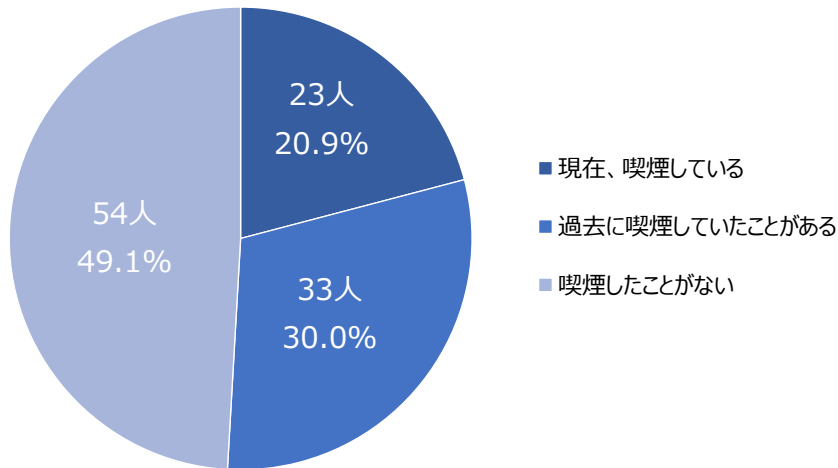


資料

● 喫煙経験の割合（2次調査 Q1） 【2022年12月調査】

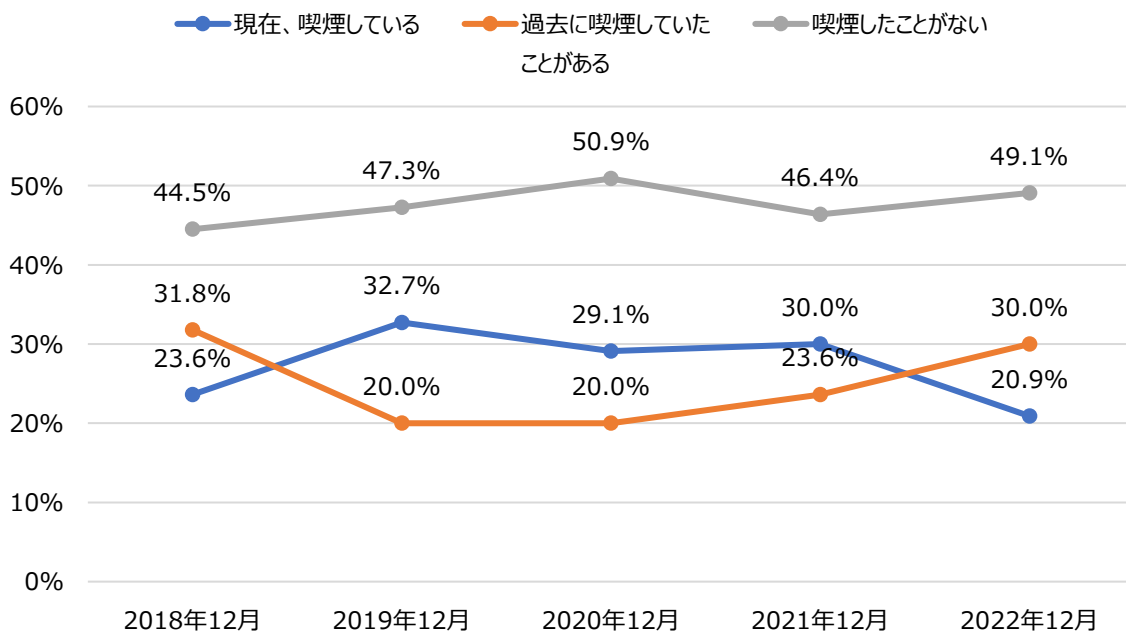
喫煙経験について質問したところ、「現在、喫煙している」と答えた人は20.9%（23/110人）、「過去に喫煙していたことがある」と答えた人は30.0%（33/110人）で、「COPDがどんな病気かよく知っている」と答えた人の約半数が喫煙経験者という結果となった。

喫煙経験の割合（2022年12月調査）



（単一回答 n=110）

喫煙経験の推移



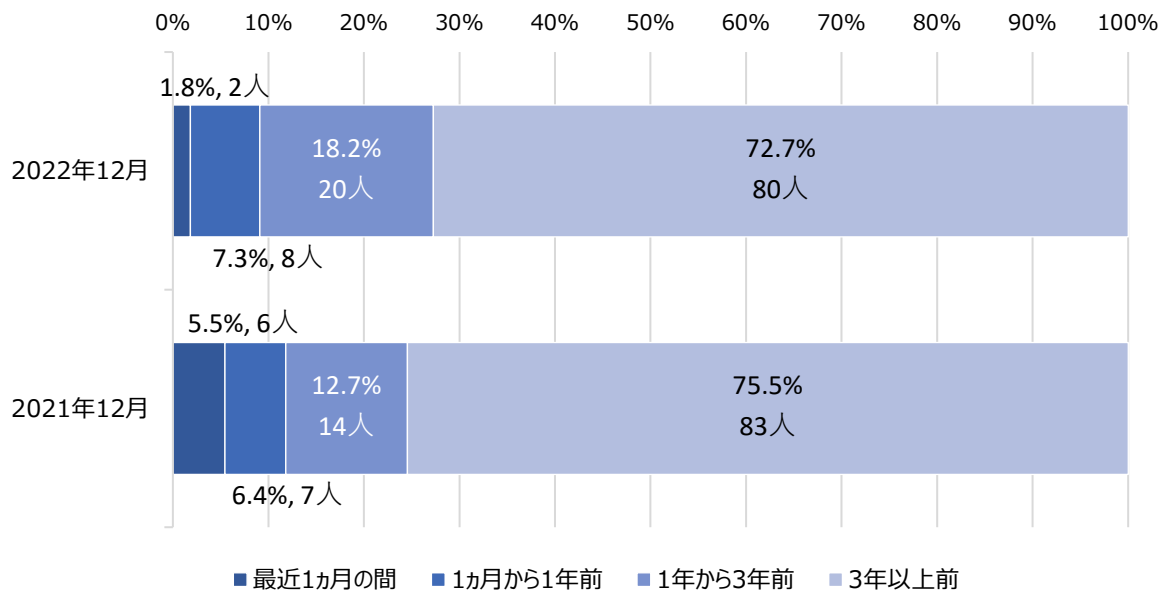
（単一回答 各 n=110）

資料

● COPDの認知時期（2次調査 Q2） 【2022年12月調査】

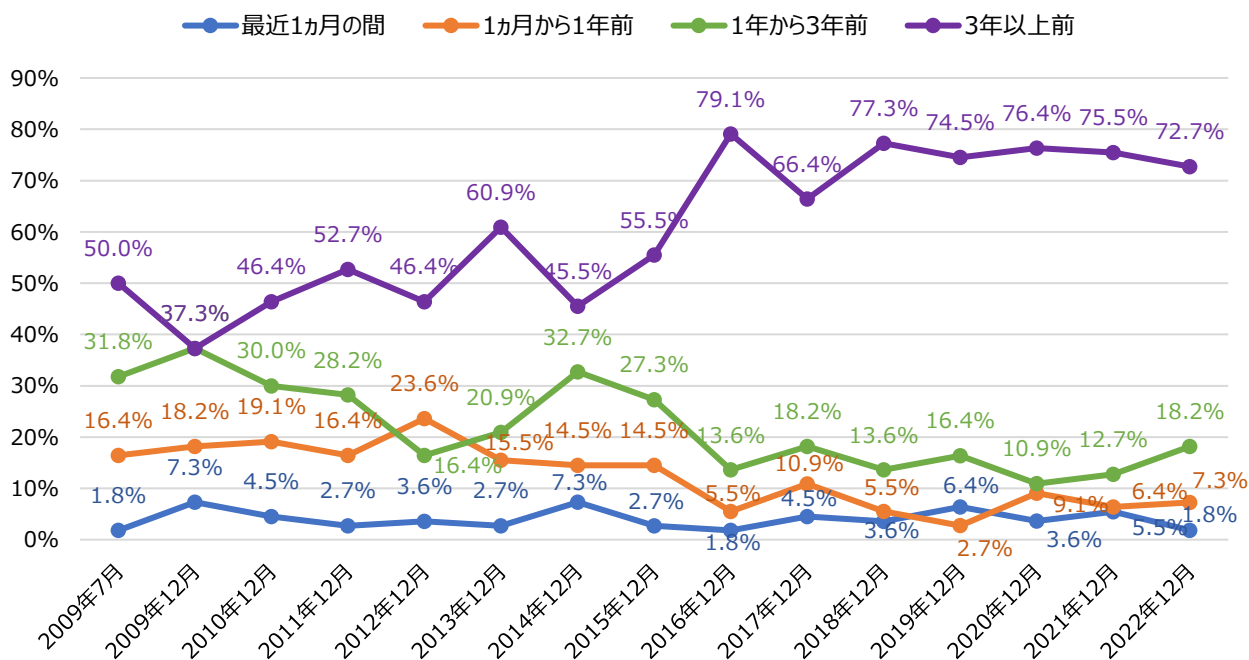
「COPD（シー・オー・ピー・ディー）という病気について知ったのはいつですか？」という質問に対して、最も多かった回答は「3年以上前」の72.7%（80人）であった。また、この1年の間に新たにCOPDを知った人は合わせて9.1%（10人）で、2021年と比べてやや減少したが、1年から3年前は18.2%（20人）で、2021年と比べてやや増加した。

COPDの認知時期（2022年調査・2021年調査比較）



(単一回答 各 n=110)

COPDの認知時期の推移



(単一回答 各 n=110)

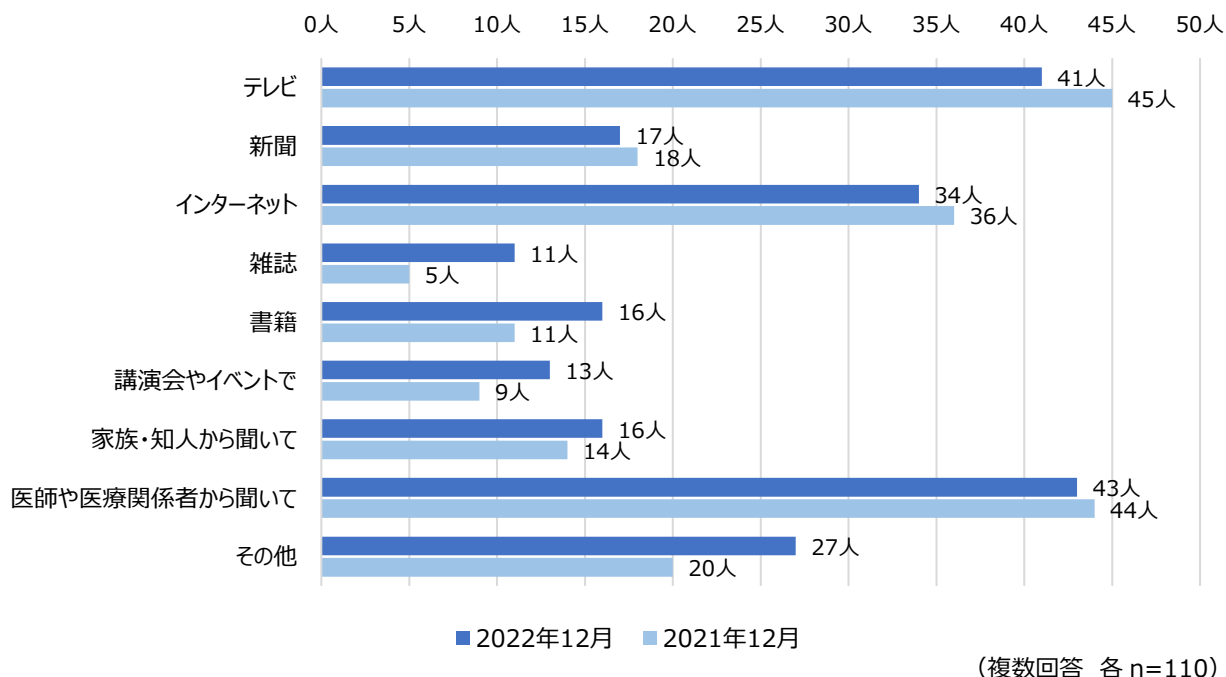


資料

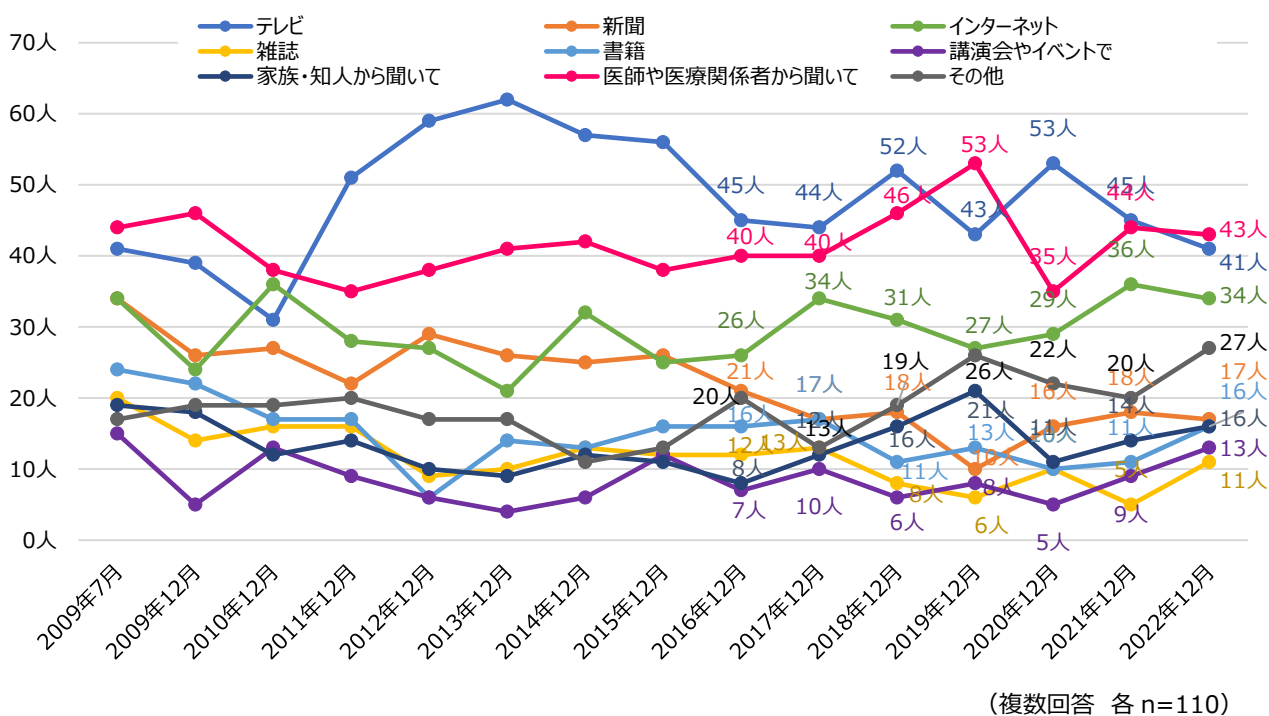
● COPDの認知経路（2次調査 Q3） 【2022年12月調査】

「どのような経路で COPD について知りましたか？」という質問（複数回答）で回答が多かったのは「医師や医療関係者から聞いて」43人、「テレビ」41人、「インターネット」34人でした。2021年に比べると「新聞」も含めやや減少したが、「雑誌」「書籍」「講演会やイベントで」「家族・知人から聞いて」は増加した。

COPDの認知経路（2022年調査・2021年調査 比較）



COPDの認知経路の推移

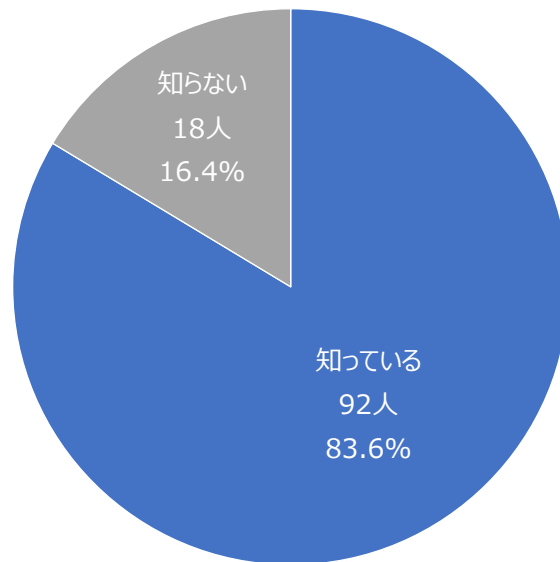


**資料**

● 「COPDの原因の90%以上は喫煙であること」の認知度（2次調査 Q4） 【2022年12月調査】

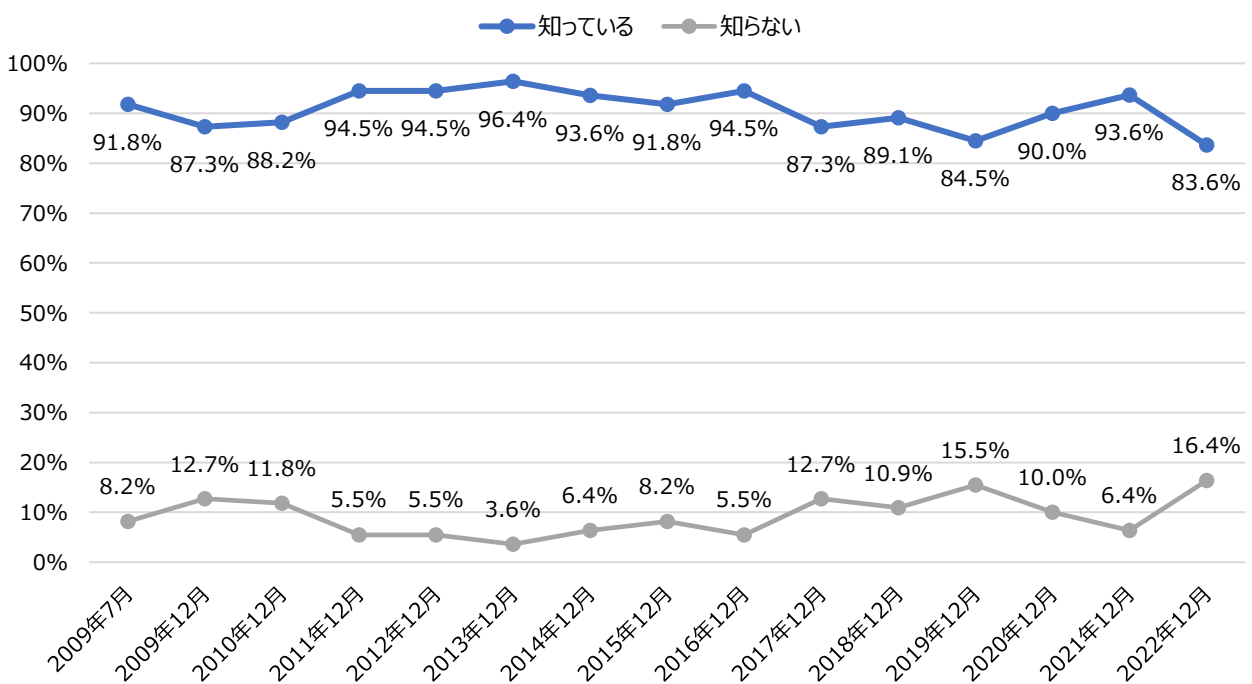
「COPDの原因の90%以上は喫煙であることを知っていますか？」という質問に対して、「知っている」と答えた人は92人（83.6%）であり、COPDを知っている人の大部分がCOPDの原因を正しく認識しているといえる結果となった。しかし、認知度は2021年に比べ減少した。

「COPDの原因の90%以上は喫煙である」ことの認知度（2022年12月調査）



（単一回答 n=110）

「COPDの原因の90%以上は喫煙である」ことの認知度の推移



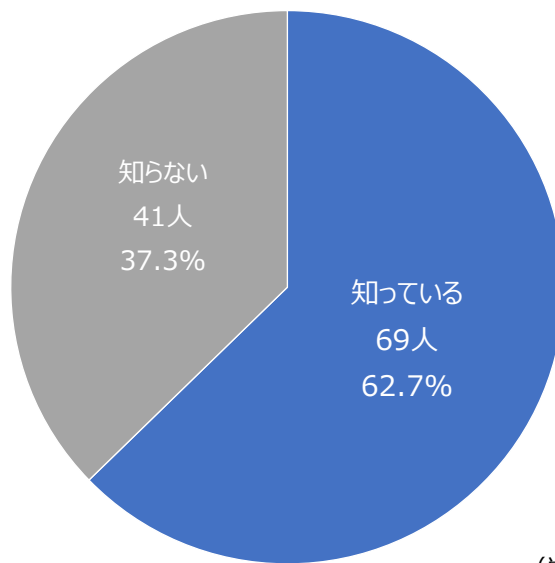
（単一回答 各 n=110）

**資料**

- 「喫煙経験のある40歳以上の8人に1人は、COPDの可能性がある」ことの認知度（2次調査 Q5）  
【2022年12月調査】

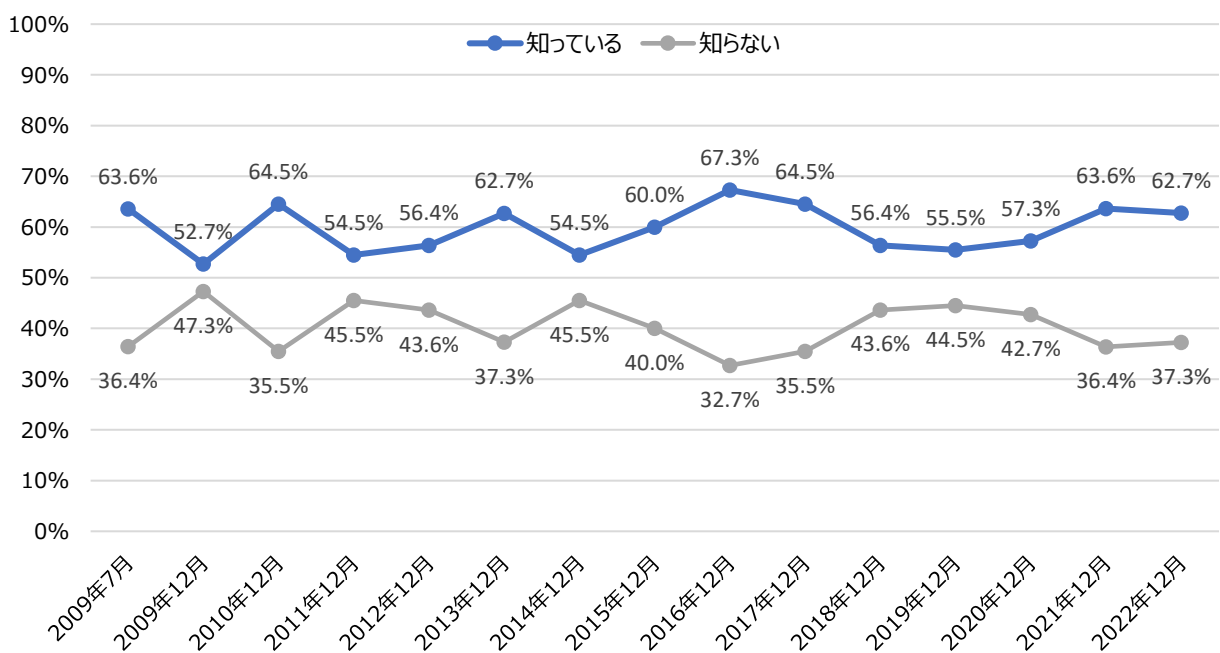
「喫煙経験のある40歳以上の8人に1人は、COPDの可能性を知っていますか？」という質問に対して、「知っている」と答えた人は69人（62.7%）で、COPDを知っている人の半数以上は喫煙経験、年齢とCOPDの関連を正しく認識しているといえる結果となった。しかし、認知度は2021年に比べ、わずかに減少した。

「喫煙経験のある40歳以上の8人に1人は、COPDの可能性がある」ことの認知度（2022年12月調査）



（単一回答 n=110）

「喫煙経験のある40歳以上の8人に1人は、COPDの可能性がある」ことの認知度の推移



（単一回答 各 n=110）

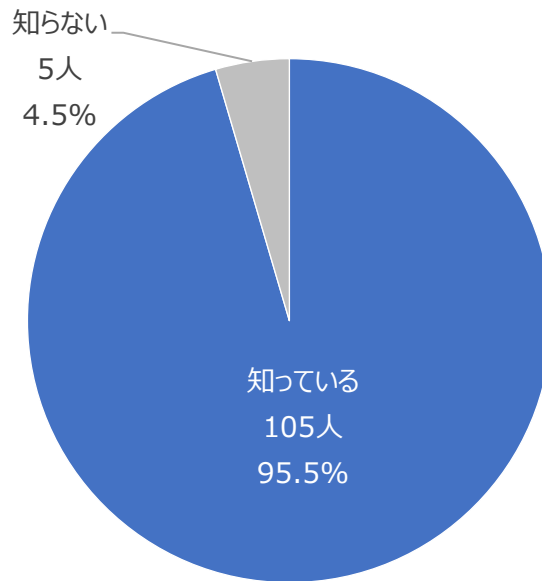
**資料**

- 「COPD の主な症状は慢性的な咳と痰（たん）、息切れである」ことの認知度（2次調査 Q6）

【2022年12月調査】

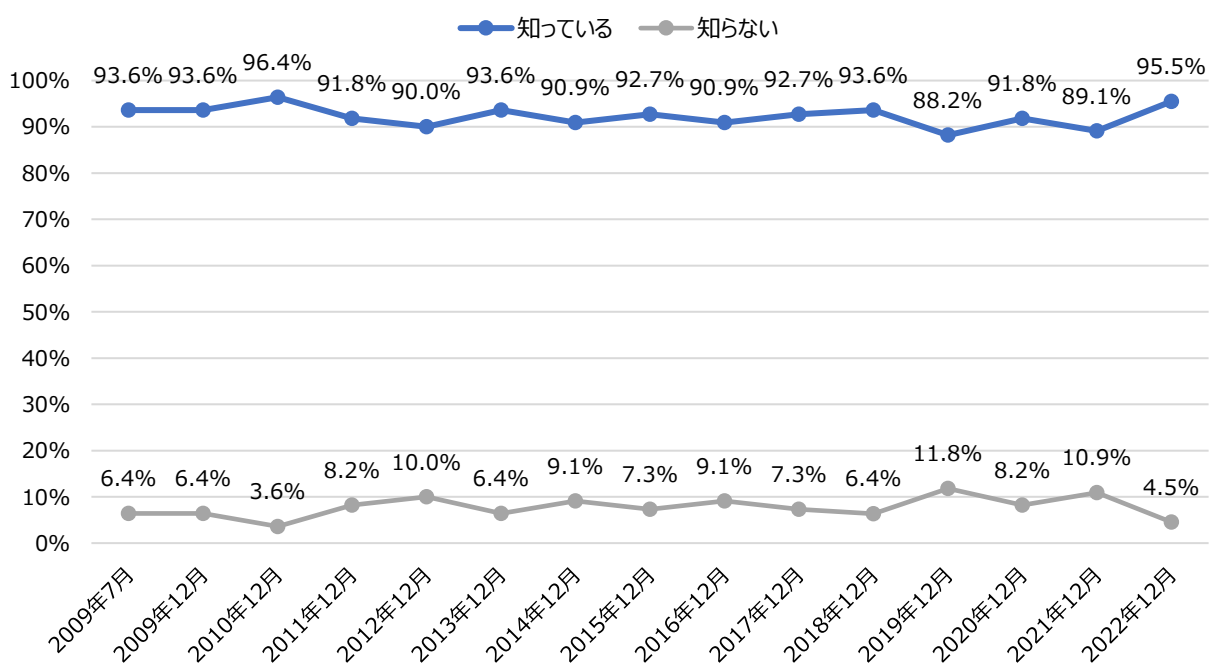
「COPD の主な症状は慢性的な咳と痰（たん）、息切れであることを知っていますか？」という質問に対して、「知っている」と答えた人は105人（95.5%）で、大部分の人がCOPDの主な症状を正しく認識しているといえる結果となった。

「COPD の主な症状は慢性的な咳と痰（たん）、息切れである」ことの認知度（2022年12月調査）



（単一回答 n=110）

「COPD の主な症状は慢性的な咳と痰（たん）、息切れである」ことの認知度の推移



（単一回答 各 n=110）